

日本共産党 庄原市議会議員候補 ふじき百合子

ご町内のみなさん。おはようございます。（こんにちは。）

日本共産党のふじき百合子でございます。最後のお願いにおうかがいいたしました。

私、ふじき百合子は、新型コロナ危機のもと、市民の「いのちとくらし」をまもるため、日本共産党の2議席実現に、全力をつくします。どうか、最後まで、よろしく願いいたします。

今度の選挙は、私にとって、初挑戦で、大激戦の選挙です。

どうか、みなさんのお力添えで、「私、ふじき百合子」を市議会に送っていただきますよう、心からお願いいたします。

私は、看護師として働くなか、「医療や介護のあり方が政治によって大きく左右される」ことを何度も経験してきましたが、今回のコロナ禍で、政治の責任が、いかに重要かを痛感いたしました。

コロナ禍は、社会的に弱い立場の市民を直撃しています。

いまこそ、市民の「いのちとくらしを大切にする市政」が、つよく、求められています。

私は、これまでの経験を生かし、医療・介護・保育・教育現場の定期的なPCR検査、ケア労働者の待遇改善、庄原赤十字病院の再編計画の見直しに全力でとりくみます。

「学校統廃合計画」を見直し、すべての学校で小規模・少人数教育の良さを生かした教育の充実をめざします。

18歳までの、子どもの医療費無料化、子どもの国保税均等割の廃止で、子育て世代を応援します。

私は、1人の女性として、「性別に関係なく、誰もが大切にされる、ジェンダー平等社会の実現」に、全力でとりくみます。

これからも、みなさんの願いや思いを、遠慮なく、お寄せください。

私は、その願いや思いに応え、現職の谷口隆明さんと力をあわせ、一生懸命がんばってまいります。

どうか、みなさんの切実な願い実現のため、私、ふじき百合子を、みなさんのお力で、市議会に押し上げていただきますよう、重ねてお願いいたしまして、最後のお訴えとさせていただきます。

どうか、最後の最後まで、よろしく願いいたします。